

石川さんとの1日

7:00 起床

9:30 保育園へ子どもを送る

10:00 家事をしつつ、業務開始
お客様対応、SNS投稿作成

12:00 昼食

13:00 打ち合わせ、アサイン、
納品チェックなど



△お客様とzoomミーティング

15:00 ブーケ制作



△ブーケづくり

17:00 保育園に子どもを迎える

19:00 夕食。子どもと遊ぶ

21:00 寝かしつけ

22:00 リサーチ、ブログ作成など

24:00 就寝



△ビーチでウェディングフォト



△夕日をバックにお客様と記念撮影
※ウェディングがある日は
お客様対応、現場での
アシスト等が入ります。



久米島出身者Uターン
島内初!ウェディングの会社
Kume La Chic
石川夫妻

Uターン × 起業 × 島婿

Uターンしたきっかけは?

島生まれで大学から沖縄本島へ出ました。いずれ島に戻りたいと思っていたので、出産を機に移住したいと夫に伝えたところ、同意してくれてびっくりしました(笑)。

実際に島に住んでみてどう?

島でのんびりした環境で余裕を持って子育てできていると感じます。困るのは娯楽が少ないことかな。あと荷物の遅延と台風。良いことは年の近い世代で起業して頑張っている人がたくさんいて、刺激になっていることです。

島での起業ってどう?

久米島で仕事をするなら島の資源を活かした、まだ島にないものと思い、憧れだったウェディングの仕事を選びました。市場がないところでゼロからスタートする楽しさと大変さの両方を感じています。フォトウェディングについて「外で撮るの?」と聞かれたり。起業したら島の年配の人に「上等だね〜」って喜ばれました。(笑)。

島の良さって?

自然や人との距離が近いことだと思います。仕事、プライベートどちらでもすぐに会える距離に人がいて、互いにサポートできます。すぐそばには大自然があって、贅沢な環境だなと思います。おかげで暮らしに余裕ができ、日々小さな幸せを感じることが多いです。

Uターンする人へメッセージ

大人になって住む久米島もいいですよ! 困ったことがあればいつでも相談してください!



プロフィール

石川萌奈美(30代)
久米島出身。夫と子ども(3歳)の3人暮らし。2021年、島へUターン移住。ウェディングサロン「クメラシック」をスタート。丁寧に寄り添うサービスに定評がある。

夫の和磨さん談・島婿さんってどんな感じ?

大学卒業後プロでサッカーをしていたので島でもサッカーに携わっていたのなら、と移住に承諾しました。仕事は義父の土木の会社を手伝ってます。最初は職場の年配の方の方言がわからなくて困りました(笑)。週3回子どもにサッカーを教えます。コーチの仕事はめちゃめちゃ楽しいですよ。チームを強くして島を盛り上げられたら最高ですね。社会人のフットサルにも参加していて、そこで友達もできました。島婿さんは趣味があるといいと思います。島はいい人が多くて、移住して来て歓迎されるとすごく感じますね。



△久米島のビーチにて 父と子でのんびり



久米島出身者対談
長濱有希乃さん
×
摺木陽介さん
×
仲宗根弘之さん

移住者に対してどんな思いを持ってる?

長濱:新しい風を持ってきてくれると感じます。
摺木:島出身の僕らには見えない島のよさを純粋に見てくれると思います。
仲宗根:僕らが見過している島のきれいなスポットを知っていたり、視点が違うと思います。
長濱:活動的なイメージがありません。島の魅力を知っているから起業が上手だったり。
摺木:移住者ウエルカムですよ!

地域のコミュニティーになじめる?

摺木:地域の行事の手伝いから入るのはおすすめです。一緒に作業したら仲良くなれるし、自然な流れで飲みに行ったりするし。
仲宗根:島の人はシャイな人が多いから飲むと仲良くなれます。
長濱:お子さんがいる方は子供の行事を通して輪を広げたりも。

移住者と島出身者、カルチャーショックは?

長濱:うちの職場では移住者と島出身者が打ち解けています。島はのんびりしているので、それが良い場合と難しい場合があるかもしれない。方言や言い回しで「意味がわからなかった」と言われることも。「○○しましょうねー」が「やっておきますねー」という意味とか。
摺木:島の習慣で下の名前を呼び捨てにしたら、うちの店の女性スタッフにどきどきしたと言われたことがある(笑)。

子育てはしやすい?

仲宗根:子育てはしやすいと思います。地域が子どもを見守ってくれるし、子どもが一人で自由に動ける。
長濱:渋滞がないから仕事をしながら習い事の送迎ができます。自分のやりたいこともしながら子育てできるといいですね。
仲宗根:知り合いが東京から子連れで来た時に、みんなが抱っこす

移住者に対してどんな思いを持ってる?

から親も喜んで、子どももよく笑うようになってました。

摺木:島は子どもに優しいよね。

どんな人に来てほしい?

摺木:人と関わることが島のよさだと思うので、地域に溶け込める人がいいですね。
仲宗根:優しい人に来てもらえたら嬉しいです。年寄りにも優しいような。
長濱:島では資格が取れないので、保育士、看護師など資格を持った人も来てくれたら嬉しいですね。
摺木:島のことを知ろうとすればいいです。

移住する方へメッセージ

仲宗根:人が優しく自然が守られている島です。仲良く過ごしましょう!
摺木:一緒に久米島を盛り上げましょう!
長濱:みんなが温かい島なので、来て楽しんでくださいね!

長濱有希乃(30代)

児童発達支援事務所、
放課後等デイサービス
「cotocoto」代表



大学で福祉を学んだ後、島内の福祉施設に勤務。2019年にcotocotoを立ち上げる。子どもが「わくわく・楽しい」から学びながら、生きる力を身につけていける場所作りを目指す。趣味はドライブとDIY。6児の母。



摺木陽介(30代)

アメリカンカフェ、
ドリンク&Tシャツショップ
「ユナミファクトリー」代表



カナダ、アメリカへの長期留学の後、Uターン移住。
飲食店経営アドバイザー。
趣味は仕事と読書。



仲宗根弘之(40代)

久米島町宇島島 区長



島内の刺身店で鮮魚解体スタッフとして勤務。自宅を年齢問わず人が集まれる場所に、そこから輪を広げて団結力のある地域を作っていくことを目指す。趣味はワークアウトと盆栽。

